

目次

刊行のことば 長野市長 鷺澤正一

監修にあたって 監修者 児玉幸多

緒言

例言

第一部 長野市の文化財と史跡

長野市の文化財（国・県指定）……………二

長野市の文化財（市指定など）……………三五

第二部 長野市域の自然——変貌する自然

一 基礎となる大地の変動……………四三

1 変動する長野盆地 …………… 四三

長野盆地のおいたち 盆地西縁部の地形と活断層

東部山地の傾動と遺跡の埋没

2 資源むかし・いま …………… 五〇

地下資源 その他の資源

3 変わりゆく水環境 …………… 五五

清水・井戸水や小川の水に支えられた生活

排水路と化した市内の中小河川 飲料水の水源確保

西部山地の溜池の利用

4 長野市の気候と温暖化や大気汚染の進行 …………… 六一

地域差の大きい内陸性気候 温暖化とヒート・アイランド

大気汚染と環境悪化

二 移り変わる動植物 …………… 六六

1 野生植物の異変 …………… 六六

裏山に増える常緑の木々 消えた草原と草花

はびこる帰化植物

2 河川や池の生きものの激変……………七二

オオクチバスと水中の生きもの
姿を消してしまったトンボ・イモリ・カエル

3 変動する里や山の生きものたち……………七六

消えたアメリカシロヒトリ 増えてきたイノシシ
里におりてきたカモシカ

第三部 長野市域の歴史

原 始——長野盆地の黎明

一 高原の旧石器文化……………八四

1 飯綱高原の狩人……………八四

野尻湖のナウマンゾウ 飯綱高原の狩人

2 細石器から有舌尖頭器……………八七

シベリア系統の組み合わせ道具 飛び道具の発明

二 山麓と千曲川河岸の縄文遺跡……………九一

1 山麓と扇状地の縄文ムラ……………九一

土器と弓矢の出現 西山の遺跡 扇状地上の遺跡

2 千曲川河岸に進出した縄文遺跡……………九四

自然堤防上の遺跡 サケ・マスのもたらす恵み
縄文から弥生へ

三 赤い土器の国……………九八

1 縄文の伝統と新しい波……………九八

稲作技術の伝播 再葬墓と木棺墓

2 環濠集落の生活……………一〇二

縄文色を残す栗林式土器 環濠で囲まれた松原ムラ

3 石の農具から鉄の農具へ……………一〇五

北との交流 赤い土器を用いたムラ 稲作農耕の進展
ムラ長の墓

四 古墳にみる盆地の首長層 …………… 一一二

1 川柳將軍塚古墳と前期古墳 …………… 一一二

前方後方墳から前方後円墳へ 王の登場

地域王権の確立と変容 首長と祭祀

2 古墳時代のムラ …………… 一一七

古墳を支えた自然堤防上のムラ 扇状地上のムラと古墳

3 朝鮮半島からの影響 …………… 一一九

積石塚古墳と合掌形石室 横穴式石室と家族墓

古墳にみる仏教文化

古 代——シナノから科野国・信濃国へ

一 シナノから科野国へ …………… 一二四

1 ヤマト王権と北信濃 …………… 一二四

前方後円墳と北信濃 人を介した支配制度

2 シナノにおける政治的社会的形成 …………… 一二七

六世紀以降の政治的変動とシナノ 国造・部民・屯倉
シナノから科野国へ

二 北信濃の古代……………一三五

1 律令国家と北信濃……………一三五

科野国の成立と北信濃 信濃国府と北信濃

北信濃の郡と郡司

2 善光寺平の古代社会……………一四四

善光寺平の歴史的環境 善光寺平の神と仏

屋代木簡の語るもの

善光寺平の開発と条里水田

3 中世への黎明……………一五六

九世紀・一〇世紀の社会変動とムラ 新しい政治のしくみ

広がる観音信仰と善光寺・戸隠の信仰のはじまり

一 善光寺門前と地域社会の展開……………一六四

1 源平争乱と北信濃……………一六四

北信濃の平氏と源氏 義仲の市原・横田河原の合戦

2 南の富部御厨と北の東条荘……………一六七

河川洪水と富部御厨 土砂災害と東条・今溝・市村高田荘
善光寺再建と東条荘の灌漑用水

3 御家人から御内人へ……………一七三

善光寺平の御家人と源氏將軍 得宗政治と善光寺保護政策

4 善光寺門前都市の発達……………一七八

新善光寺の全国化 東と南からの参詣路と門前の発達
善光寺仏師の活躍と特産品

二 大塔合戦と善光寺門前町の成立・発展……………一八四

1 建武一統と北信濃の反乱……………一八四

諏訪部・若槻氏の転出と北条氏の滅亡
北信濃の反乱から中先代の全国反乱へ
関東管領上杉氏の信濃進出と栗田城の決戦
青沼守護所から平芝守護所への移転

2 將軍義満と大塔合戦 …………… 一九一

將軍義満・守護長秀による守護所・後庁・善光寺門前の独占支配

大文字一揆・村上満信の蜂起

幕府代官の支配と関東の争乱

3 応永の平和とムラ・町の文化 …………… 一九四

国人高梨氏と六カ郷用水 市村高田荘の年貢輸送と山科家

戸隠・飯縄信仰と善光寺門前町の発展

三 善光寺門前町の衰退と城下町の台頭 …………… 一九八

1 信濃文正の変から川中島合戦へ …………… 一九八

小笠原宗康の漆田原敗死と文正の変 善光寺平の戦国争乱

善光寺平の真宗寺院と武装化 戦国騒乱と川中島合戦

2 川中島合戦による善光寺門前町の荒廃と新興城下町の発展 …… 二〇七

善光寺如来の争奪戦と門前町の荒廃

牧野島・松代・長沼の新興都市と城下町の形成

戦国時代の善光寺平 織田軍と善光寺一揆蜂起

3 天下統一と戦乱のなかの村と町 二二四
海津城主須田満親と上杉連合軍の勝利
秀吉の朝鮮侵略と戸隠神社再興 災害と消滅した中世の村々

近世——真田一〇万石と善光寺

一 松代藩と松代城下町 一二四

1 真田松代藩の成立と藩政 一二四

真田氏の松代入封 寛文検地と二斗八騒動
田村騒動と宝暦改革

2 松代城下町 一三〇

松代城と武家町 松代八町 武士の学芸と文化

コラム 松代城跡の発掘と成果 一三五

二 善光寺領と善光寺信仰 一三九

1 善光寺領の成立と政治 一三九

寺領の成立 領政と善光寺八町

2 善光寺信仰のひろがり……………二四三

本堂再建と出開帳 善光寺参りと権堂の水茶屋……………二三八

三 産業の発達と交通・運輸……………二四七

1 農業の発達と商品生産……………二四七

用水と入会山 善光寺町下肥騷動 木綿・菜種と醸造業

千曲・犀川の漁業……………二五〇

2 北国街道と交通運輸……………二五五

北国街道の成立と宿駅 佐渡金銀と参勤交代

商品流通の発達と中馬・手馬 千曲川と犀川通船……………二六四

四 戌の満水と善光寺大地震……………二六五

1 戌の満水と飢饉……………二六五

戌の満水 続発する諸災害 天明・天保の飢饉……………二七〇

2 善光寺大地震……………二七一

善光寺大地震の惨状 語りつがれる大地震……………二七二

五 貨幣経済の浸透と町・村の変化……………二七五

1 村の移り変わりと文化……………二七五

村の変化と村方騒動 衣食住の高まり
 文書主義と寺子屋 若者組と村の祭り

2 町の暮らしと文化……………二八三

善光寺町続き地と松代町外町 町の年中行事
 町の暮らしと文化

六 支配の動揺と幕末動乱……………二九〇

1 政治の改革と民衆……………二九〇

幕府領の組合村と取締役 塩崎知行所の財政改革
 真田幸貫の改革

2 ペリー来航から幕末動乱へ……………二九六

黒船来航と諸藩の動向 長州戦争と領民の負担
 佐久間象山と長谷川昭道

近代——代——近代への歩みと戦争への道

一 県都長野市のはじまりと発展……………三〇四

1 明治維新と長野町……………三〇四

松代藩の廃藩 県庁が置かれる

近代的市街地の形成と長野町から長野市へ

2 文明開化と学校教育のはじまり……………三二四

信濃毎日新聞と郵便のはじまり 日新館から国民皆学へ

3 鉄道の開通と産業の近代化……………三二〇

信越線の開通と商工業の発展 松代の製糸場と養蚕・農業の成長

4 災害や戦争のなかで……………三二七

長野町・松代町などの大火と消防

大勸進養育院・海津学舎と避病院の設置

日清・日露戦争下の人びと

二 大正期市民意識の高まりと十五年戦争……………三三六

1 市民意識の高まりと生活の変化……………三三六

	市町村合併と都市計画	普通選挙と生活の変化
	長野市青年会と長野婦人会	長野の米騒動と廃娼・部落解放の運動
	自由教育の動き	市営球場の建設とスポーツの振興
2	交通の整備と産業の発展	三五四
	長野電鉄と川中島自動車の運行	長野市中央通りの改修
	養蚕業と稲作の改良	
3	昭和恐慌と市民生活	三六二
	銀行の破たんと統廃合	農産物価格の下落と農村の立てなおし
4	十五年戦争と戦時下の生活	三六九
	満州移民と青少年義勇軍	戦時下の市民生活
	戦時下の学校生活	敗戦まぎわの松代大本営地下壕と長野空襲
現代——民主化の進行と国際化への歩み		
一	民主化と高度経済成長	三八六
1	民主化への動きと市民	三八六

長野軍政部の進駐と市民 公職追放と婦人参政権

農地改革と食糧増産 戦後インフレ下の市民生活

戦後の新しい中学校と高等学校 公民館の設置と活動のはじまり

2 高度経済成長と拡大する市域……………四〇七

二度の市町村合併で大長野市へ 商工業の発展と交通・公害問題

住宅団地の造成と農山村の過疎化

松代群発地震と水害・地すべり災害

二 市民生活の変容と長野市政……………四二〇

1 低成長期の市政と市民生活……………四二〇

石油危機と市民生活 高齢化社会と福祉事業の整備

不登校・いじめと学力問題

2 地域の変貌と市民……………四三〇

まちづくり運動の展開 長野自動車道と長野新幹線の開通

3 広がる国際交流と長野市政……………四三八

松代大本営地下壕跡の保存・公開問題 国際理解から国際交流へ

長野冬季オリンピック・パラリンピックの開催

行政の広域化と中核市移行

第四部 長野市域の民俗——習慣と生活

一 住まいと環境——生活空間の創造……………四五三

1 村の伝承……………四五三

開村伝承 災害の記憶

2 屋敷の選定……………四五八

屋敷構え 住まいと暮らし

3 新しい住まいを求めて……………四六二

見捨てられる住まい 街の活性化と近郊住宅地
新たな創造

二 村の風景——自然と暮らし……………四六六

1 草萌える……………四六六

春の訪れ 草ほける 秋風立つ

2 草枯れる……………四七三

アキアガリ お菜洗い

3 新年……………四七六

年取り ドンドヤキ

三 生活の創造——新しい暮らし …………… 四七九

1 変わる暮らし…………… 四七九

新興住宅地の形成 漂流する人びと

2 祭りの創造…………… 四八三

都市の祭りとしての御祭礼 神なき祭りの登場

祭りの個別化 商都長野の秋の終わり

あとがき

総集編執筆者

執筆分担

監修者

刊行委員

編さん準備委員

編さん委員

調査協力員

事務局・編さん室職員